

元気の出る情報・交流誌

2025

1月

[No.827]

手をつなぐ

特集

参加している?
選挙のこと、政治のこと

今月の問題 | 教育場面における合理的配慮の浸透を

ひびき | 林家きよ彦 (落語家)



一つ屋根の下でくらすせんせいと「わたしの自立」を考える [第4回]

「困り」を知ること Aju・永浜明子

わたしたちも言いたい グループホームの移動 A・S 2

知りたい! あなたの見ている・感じている世界 [第10回] 共感覚の世界はどんな世界? 福田香苗 5

特集**参加している? 選挙のこと、政治のこと**

政治参加で暮らしやすい社会を目指そう! 又村あおい 8

特別支援学校における政治参加の取り組み — 自発的・自治的な活動を通して 神子雅行 12

国連障害者権利委員会初の知的障害者委員 ロバート・マーティン卿の偉大な魂 長瀬 修 14

皆さんの声 議員の人たちにどんなことをしてほしいですか? 16

わがまちの投票支援自慢と課題

福島県福島市 飯嶋祐子 18

北海道札幌市 深宮しのぶ 19

東京都品川区 佐藤直子 20

大阪府大阪市 飯塚 聡 21

沖縄県における知的障害者の投票環境調査実態と意見 田中 寛 22

誰にでもやさしい投票環境づくり 中村容明 24

知的障害者の政治参加・投票参加の意義 堀川 諭 26

今月のオススメ 29

ひびき

障害者アートに衝撃を受け始まった「新作落語」の道 林家きよ彦 30

いっしょに話そう! 性のこと。第22回

子どもをもつことの喜びと責任 門下祐子 33

今月の問題

教育場面における合理的配慮の浸透を 34

けんりって何?

鳥取県におけるあいサポート運動について③ 米澤 章 38

くらしを支える福祉の制度 第48回

意思決定支援について その1 又村あおい 40

中央の動き

令和7年度予算の概算要求が公表されました (2) 42

ニュースのじかん 45

枝元なほみのしあわせごはん いち、にっ、さん! [Lesson91]

失敗しないコクありホワイトソースで クリームソースのかけごはん

表紙絵作者のプロフィール

■濱窪祐太 (はまくぼ・ゆうた) 30歳 ■香川県仲多度郡多度津町 ■タイトル みー

■ひとこと 楽しい年になるように、カラフルな蛇を描きました。

グループホームの移動

A・S

僕はグループホームAからBに移動することになりました。

グループホームAのちかくにはショッピングモールがあり、

かいものにべんりなので、

自分としては少し良かったです。

でも、グループホームBに移動して

いいこともたくさんありました。

ちいきのまつりでは、

手伝いをたのまれるようになりました。

ちいきの人とおさけのみかわすことができるようになりました、

うちとけることができました。



朝夕のあいさつのときは

たちどまって色々なことをはなします。

ちいきでくらすには大切なことだと思ひます。

しせつにたのまれてうつりましたが、

ちいきのつながりのたいせつさをつうかんしました。

グループホームBのなかまともなかよくしています。

でもほんねをいえば

バスのべんやかいものなどをかんがえると、

グループホームAがよかつたかなと思ひます。

それでもなかまの役にたつ、

グループホームの役にたつことができてきて、

自しんになりました。



「わたしたちも言ひたい」ではみなさまからのお便りを募集しています（宛先は48ページ）。
生活のこと、仕事のこと、暮らしのことなどふだん感じていることを書いてお送りください。

参加している？ 選挙のこと、 政治のこと

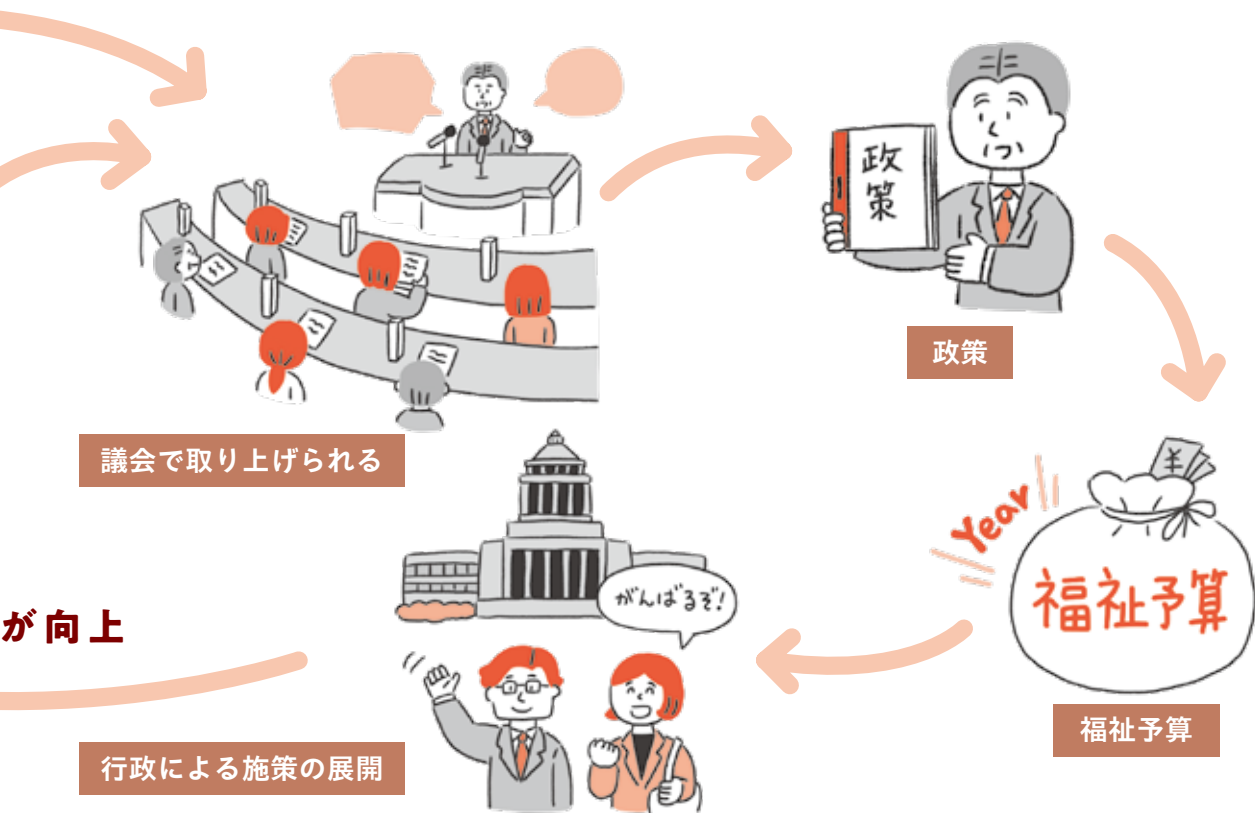
知的障害のある人の生活は、障害者福祉施策と大きく関係します。
障害者に対する投票への支援や配慮は、この5年ほどで徐々に進展してきました。
2024年10月にあった衆議院選挙でも、様々な取り組みが日本全国でなされましたが、
まだまだ十分とは言えない状況です。障害があって、
投票に行きづらい人、政治について考える機会を持ちにくかった人たち、
そしてそのような障害のある人をサポートする人たちが、
少しでも投票や政治について考えることに、
前向きになれるような情報をお届けします。



イラストレーション 高村あゆみ

政治参加で 暮らしやすい社会を目指そう!

全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事 又村あおい



皆さん、選挙へ行っていますか。

変なことを聞いているように思われるかもしれませんが、選挙はもつとも身近な政治参加です。国であれば地方であれ、議員であれ首長であれ、皆さんの1票が積み重なって選挙結果となります。ご存知のとおり、昨年10月に行われた解散総選挙は、政治状況に大きな変化をもたらしました。国民の1票には、大きな力があるのです。そして、それは知的・発達障害のある人（以下、知的障害者）であっても同じです。政治参加を通じて暮らしやすい社会を目指すためには、どのような取り組みが必要なのか、読者の皆様と一緒に考えていきたいと思います。

なぜ、政治参加なのか

知的障害者の暮らしで困ったことが起きたとき、多くの人は役所や相談支援事業所へ相談すると思います。ただ、役所の人も相談支援専門員も、国の法律や自治体の条例で決まっていることを破るわけにはいきません。たとえば、シェアハウスのような、入所施設でもグループホームでもない「新しい住まい方」を制度